

よしなが

行動目標：自分から「よ・し・な・が」

備前市立吉永中学校学校通信 No.8
冬がはじまるよ 号
令和7年12月1日発行
発行人 田代 雄一

師走です

時のたつのはやいもので、12月になりました。今年も残すところあと一月です。先週金曜日から期末テストが始まり、生徒たちはこれから2学期のまとめをする時期になります。清水寺の「今年の漢字」もそろそろ発表されますね。この1年の総決算をするときです。皆さんもこの1年を振り返ると同時に、次年度の目標についても考えていきましょう。



探究心を持ち、志の実現に向けて全力で取り組む生徒

令和7年度学習発表会

11月7日（金）に今年度の学習発表会を行いました。前半は8つの会場で、発表を行い、後半は、体育館で代表生徒による発表がありました。生徒は、夏休み前に各自でテーマを決めて、探究活動を行ってきました。なかなかテーマが決まらなかったり、テーマが決まってもどのように取り組んでいけばよいか分らなかったり、試行錯誤しながらの生徒もいましたが、それぞれ発表することができました。

発表後は、吹奏楽部の演奏があり、この演奏を最後に引退する3年生のメッセージもありました。また、会場内には、美術、理科、数学、国語の展示も行われていました。



↑各教室での発表



↑代表者の発表



↑各展示物

「知っているつもり」になっていないか？

教育情報誌「きょうこう」VOL.53（2025年10月、（公財）日本教育公務員弘済会発行）の巻頭インタビューで、写真家の石川直樹さんが語っている内容を引用します。

石川さんは17歳でインドとネパールに旅行したことをきっかけに、世界各国を旅しながら写真を撮っています。写真家としては初めて世界にある8000m峰14座すべてに登頂した人物です。このインタビューの最後に「デジタル化が進み、分からないことがあればすぐに検索し、答えが出る時代になりました。でも、それは本当に分かったと言えるのでしょうか。知ったつもり、分かったつもりになることをできるだけ避けたいと僕は思っています。」「満月の光は本が読めるほど明るいことを体験したり、暗闇への怖れを心底感じたり、凍えるような風に吹かれて死ぬ思いをしたり、五感を使って生きるという体験を、子どもたちにはたくさんしてほしいと願っています」このように語っています。

さて、今回の学習発表会で行った探究活動ですが、どうでしょうか？みなさん、自分の五感をフル活用しての探究だったでしょうか？もしかしたら、知ったつもり、分かったつもりになってないでしょうか？来年の学習発表会では、「机で調べただけ」に終わらず、現地に行ってみる。実際にやってみる。聞いてみる。失敗したら、もう一回作戦を練ってやり直す。そんな探究活動を期待します。（※下線部が引用部分です）

家庭科保育実習に行きました。

11月4日(火)と12日(水)に、吉永認定こども園で3年生が保育実習を行いました。最初は、お互い緊張して、ぎごちない様子でしたが、時間が進むにつれ打ち解けていきました。中学生が園児に遊んでもらっている(?)様子も見られました。



しらうめ荘訪問

11月4日(火)にD・F組は、隣接している施設の「しらうめ荘」との交流を行いました。自分たちで出し物を考え、発表、ゲーム、クイズ、歌など、色んなこと準備して臨みました。終了後は、うまくいかなかったところについて、「もっとわかりやすくすればよかった」「みんなが参加できるような内容にすればよかった」などしっかり振り返っていました。現在、再訪問に向けた話し合いを行っているようです。



善行少年表彰

11月21(金)に備前警察署で、善行少年の表彰が行われました。本校3年生の井上瑞貴さんが個人表彰を受賞しました。井上さんは、この夏休みに、三石夏祭りと吉永町サマーフェスティバルでユニセフの募金活動を行い、実行委員会を通じて、ユニセフ岡山支部に届けました。表彰式では、表彰者を代表して挨拶を行い、これからも社会に貢献できることを続けていきたいと述べました。井上さん、おめでとうございます。

